

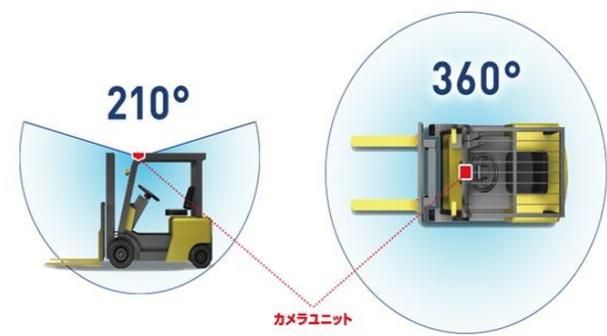
《News Release》

フォークリフト専用ドライブレコーダー設置

この度、構内物流作業で使用する全てのフォークリフトにドライブレコーダーを設置しました。

ドライブレコーダーは、リフト運転者の更なる安全意識の向上と、現場に於いて、万一、事故が発生した場合の原因の速やかな解明・対策はもちろん、見えない危険への気付きに基づく安全対策にも活かしていきます。

今後も安全なフォークリフト作業を実践する事を改めて全員で誓いました。

 <p>カメラを含む全ユニットが防水・防塵仕様</p>	 <p>全周囲録画が可能</p>
 <p>表示エリア</p> <p>加速度表示</p> <p>Gセンサー/ジャイロセンサーグラフ表示</p> <p>プレイリスト一覧</p> <p>常時録画され、危険運転を逃さず記録</p>	 <p>基本を守って事故を防ぐ！ フォークリフト 安全の心得</p> <p>ちょっと待って！運転免許を持っていますか？</p> <p>すべてのフォークリフトの運転には資格が必要です。 必要な資格はフォークリフトの性能（最大荷重）で決まります。</p> <p>最大荷重1トン以上 = フォークリフト運転技能講習 最大荷重1トン未満 = 特別教育</p> <p>「少しくらいなら」が思わぬ事故の元！</p> <p>やっていませんか？こんなこと</p> <p>1 走行時・駐停車時</p> <ul style="list-style-type: none"> 前方視界が悪いが前進で移動する。 マストを高く上げたまま進行する。急制動は特に危険！ 走行道路外を走行する。 坂道の斜面に沿って横向きに走行する。 坂道で荷を下に向けて進行する。 駐車時にキーを付けっぱなし。 制止めをしなす。 斜面に駐車する。 <p>2 荷役作業時</p> <ul style="list-style-type: none"> 荷の下に人を立ち入らせる。 パレットに入る乗位で荷降する。 フォークの先端で物を降す。 運転席から身を乗り出して荷を手渡す。 荷を高く上げたまま車を降れる。 バランスを考えた運転者以外の人や置置物を後部に載せる。 <p>これが正しいお手本！ マストは下げて全降後。 パレットは15～20cm間に。</p> <p>フォークリフトの安全運転は、基本を守ることから始まります。</p>